

なとセン登録団体紹介

十三塚みどりの会

◆ 名取市民の憩いの場

十三塚公園は、名取市中央の手倉田丘陵に位置する史跡十三塚にあり、“スポーツ公園”・“歴史公園”・“自然公園”と3つの顔をもつ総合公園です。



公園林内の下刈作業

◆ 山野草と緑を守る

自然公園としての十三塚公園は、県内でも生物多様性に優れた非常に貴重な場所です。草本類は160種類・木本類は120種類。鳥類30数種で、オオタカ・シジュウカラ・トビが子育てをし、リスも生息する自然豊かな環境です。

十三塚みどりの会は、森林インストラクターの資格を持つ齋藤忠雄代表を中心に、年間を通じて十三塚公園の自然環境の素晴らしさを楽しみながら、緑を守り後世に残したいとの思いから平成19年に発足し、今年で10年を迎えます。

定期の観察会や広報誌の発行、下草刈りや盗掘防止のロープ設置、スイレン・ハス・水芭蕉などを保護し池・沼の管理を続けています。また、松くい虫の被害やユリの繁殖・放射能の残存など各種観察・調査を行い、名取市の担当課に留意点を報告し連携を図っています。

十三塚みどりの会

〒981-1232 名取市大手町 2-6-8

代表 齋藤 忠雄

TEL 022-384-1268

◆ 市民の力で十三塚公園を守る

現在は、松や桜の立ち枯れが激しく毎年約50本前後除伐を行っています。そのため、雑木の繁茂が進み、林のバランスが崩れ会員だけでの管理が難しい状況です。また池では、ハスの若芽を食べるザリガニが繁殖しています。

◆ 協働事業へチャレンジ！

この荒廃しつつある現状を多くの市民に知ってもらい、共に“緑”を守る活動に参加してもらう機会として、名取市協働提案事業へ「親子ザリガニ釣り大会と自然観察会」を申請し採択され、名取市の後援をいただき5月と10月に開催する運びとなりました。子ども達はザリガニ釣りを楽しみながら森林保全に貢献でき、自然観察会では親の方にボランティアとして、山野草を観察しながら除伐、除草作業に参加していただく遊びあり学びありの有意義なイベントです！

◆ 緑を守る仲間募集中

十三塚みどりの会では「散策の時は植物をいたわる気持ちを持って、決められた遊歩道上を歩く、木の芽や幼木などを踏んだり、持ち帰らない」といった市民一人一人の協力を求めています。また、このかけがえのない緑と一緒に守ってくれる仲間を募集しています。



公園の池に咲く、美しいスイレンの花